

その1

「 岐阜県発日本一、世界一 ~ 10月 ~ 」

その1

スポーツ健康課 スポーツ振興担当

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第62回国民体育大会(秋田) 水泳(競泳) 成年男子30歳以上 50mバタフライ	第3位	H19.10.1	糸井 統 (県岐阜商高教諭)		大会6連覇を狙った糸井選手は、予選を3位で通過し決勝に臨んだ。調整不足からスピードに乗れない糸井選手は25秒24のタイムで3位に終わった。 (秋田県秋田市:秋田県立総合プール)
成年女子 100m平泳ぎ	第3位	H19.10.3	三輪 芳美 (コナミ東日本)	県岐阜商高卒	三輪選手は予選2組を1位で通過し決勝に駒を進めた。しかし決勝では予選のタイムを上回れず、1分10秒54のタイムで昨年度と同じ3位入賞となった。 (同上)
ライフル射撃 成年女子 ビーム・ライフル肘射 60発	第1位	H19.9.30	森 貴誉乃 (平野総合病院)		森選手は、序盤得点が伸びず出遅れたものの徐々にペースを取り戻し、抜群の集中力で60発の本射を1位で通過した。決勝でも高得点を連発し、2位に3.4の大差をつけて見事大会2連覇を飾った。 (秋田県由利本荘市:岩城総合体育館)
成年女子 10mエア・ライフル立射 40発	第3位	H19.10.2	今井 尚子 (東京リーガルマインド)	済美女子高卒 (現:済美高)	本戦得点を392点の3位タイで岡崎選手(東京)と並んだ今井選手は、決勝でも着実に得点し、上位には届かなかったものの単独3位の入賞となった。 (秋田県由利本荘市:秋田県立総合射撃場)
少年女子 10mエア・ライフル立射 40発	第1位	H19.10.1	清水 綾乃 (済美高2年)		安定したフォームから正確な射撃で記録を伸ばした清水選手は、本戦で397点の大会新記録を出し、2位に6点の大差をつけた。決勝も崩れず、見事従来の大会記録を1.5点上回る498.1点の大会新記録で優勝を飾った。 (同上)
少年女子 10mエア・ライフル立射 20発	第2位	H19.10.3	清水 綾乃 (済美高2年)		エア・ライフル立射40発の余勢を駆って2種目優勝を狙う清水選手であったが、序盤得点が伸びず苦しい展開になった。後半追い上げるも、小林選手(滋賀県)に1点届かず、惜しくも2位となった。(同上)
成年男子 ワイルドウォーター カヤックシングル1500m	第2位	H19.9.30	渡辺 正浩 (トヨタカローラ岐阜)		前半の難コースを着実にこなした渡辺選手は、後半の流れが速くなったところを一気にスピードを上げてタイムを上げた。1位には届かなかったものの4分38秒25のタイムで2位となった。 (秋田県仙北市:玉川特設カヌー競技場)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
成年男子 フラットウォーターレーシング カナディアンシングル500m	第2位	H19.10.1	小島 嶺太 (トヨタカローラ岐阜)		予選ではコンディションに違和感を覚え調子に乗れなかったが、決勝では足腰を意識して使った結果パドリングが冴え、スピードに乗った。し烈な2位争いを勝ち抜き、会心の2位になった。 (秋田県由利本荘市:子吉川特設カヌー競技場)
成年男子 スラローム カヤックシングル25ゲート	第2位	H19.10.1	加藤 哲平 (丸山木材工業)		昨年度この種目で2位の加藤選手は、スピードと技術が要求されるコースで、1本目はミスが響き3位と出遅れた。気を取り直した2本目は完璧なレース運びで順位を上げたが1位の矢澤選手(長野県)に届かず2年連続2位となった。
成年男子 スラローム カヤックシングル15ゲート	第3位	H19.10.2	加藤 哲平 (丸山木材工業)		この種目での連覇を狙う加藤選手であったが、1回目5位と得点が伸びなかった。2回目は果敢に攻めたがペナルティを課せられるなど思うようなレース運びができず、3位となった。(同上)
成年男子 組手個人中量級	第2位	H19.9.30	松久 功 (エヌケーシー)	岐南工高卒	昨年度は個人組手重量級で優勝を飾った松久選手は階級を変え、連覇を狙って出場した。順調に勝ち上がり、3回戦で永木選手(岡山県)を僅差で破り決勝へ進んだ。決勝では、追い上げ体勢に入ったところで、松久選手の拳が浅野選手の顔を捉え、不本意ながら反則負けでの2位となった。(秋田県にかほ市:象潟体育館)
成年男子 組手団体	第3位	H19.10.2	岐阜選抜 松久 功 松久 玄(近畿大4年) 雁部雅士(中京大2年)	岐南工高卒 (松久功・雁部雅士) 岐阜西中卒 (松久玄)	松久兄弟の活躍で順調に勝ち上がり連覇を狙った岐阜選抜であったが、準決勝で先鋒の松久功選手が大分県の古梶選手に敗れ、そのまま敗退した。気を取り直した3位決定戦で、岐阜選抜は2 - 1で岡山県を下し、3位となった。(同上)
ホッケー 少年女子	第1位	H19.10.3	岐阜各務野高		選抜大会、インターハイと優勝から遠ざかっていた岐阜各務野高は今季最後の大会となる今大会に照準を絞り秋田入りした。準々決勝、準決勝と相手を寄せつけず、決勝は今年2度敗れている宿敵の須知高を中心とした京都選抜との対戦となった。気迫に勝る早いパス回しで相手を圧倒して試合を常に優位に進め、4 - 1で完勝し、3年ぶり20度目の優勝を飾った。(秋田県羽後町:多目的運動広)
ホッケー 成年女子	第3位	H19.10.3	岐阜選抜 ソニー宮 東海学院大学		準決勝の栃木県との試合で2点先取したものの追いつかれ、再々延長の末、PSで1 - 2で敗れた。広島県との3位決定戦では、後半32分に三浦選手がPCから決めて競り勝ち3位となった。 (秋田県横手市:十文字陸上競技場)

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
ホッケー 少年男子	第1位	H19.10.4	岐阜選抜 岐阜総合学園高 可児工業高		岐阜選抜は準決勝の熊本県との対戦で1 - 3の苦しい状況から粘って、延長の末、4 - 3と劇的な勝利を得て、決勝に駒を進めた。決勝は主将の多和田選手を準決勝時の怪我で欠き、島根県に2点リードを許す苦しい展開となった。ここから驚異的な粘りで前半を2 - 3で折り返すと、後半はPCから横山選手(岐阜総合学園高)が2点を挙げリードを奪った。終了間際のPSで4 - 4の同点とされたが両チーム優勝となり、2年連続9度目の優勝を飾った。また、ホッケー競技は他の2種別を合わせて競技別の天皇杯を獲得した。(秋田県羽後町:多目的運動広場)
バスケットボール 成年男子	第2位	H19.10.3	岐阜選抜		東海ブロック予選の「1枠」を初めて勝ち得て秋田入りした岐阜県選抜は、宮ノ腰選手らを中心に一回戦、準々決勝と難なく勝ち上がった。準決勝では、石川県に20点近くあったリードを一時逆転されるも落ち着きを取り戻して戦い、成年男子として初の決勝進出を果たした。決勝では、千葉県に終始リードを許して敗れたが、大健闘の2位であった。(秋田県三種町:琴丘総合体育館)
セーリング 少年女子 シーホッパー級スモールリグ	第3位	H19.10.2	松永 貴美 (海津明誠高3年)		松永選手は、第1・第2レースで出遅れたが、第3レースで3位、最終の第4レースで2位と順位を上げ総合で3位に入賞した。(秋田県男鹿市:船川港特設セーリング競技場)
ウェイトリフティング 少年男子 85kgスナッチ	第2位	H19.10.2	小倉 鉄平 (土岐商高3年)		良いコンディションで今大会に臨んだ小倉選手は、スナッチで着実に記録を伸ばし、自己ベストタイの110kgでスナッチ2位となった。続くジャークでも好調さを維持し、自己ベストに迫る124kgを挙げて、トータルでも2位に入賞した。(秋田県鹿角市:鹿角トレーニングセンター)
少年男子 85kgトータル	第3位	H19.10.2	小倉 鉄平 (土岐商高3年)		
自転車 少年男子 エリミネーション・レース	第3位	H19.10.3	加藤 良治 (岐南工高3年)		加藤選手は予選3組に出場しを3着で決勝に進んだ。決勝は上位集団で粘り強く走り、入部選手(奈良県)、末木選手(山梨県)に次いで3位に入賞した。(秋田県美郷町:六郷自転車競技場)
卓球 少年女子	第3位	H19.10.2	富田 高 中村薫子 大野 茜 張 鴻悦		予選リーグで高校総体のベスト4の2チームを下し、決勝トーナメントに進出した。高校総体優勝の四天王寺高(大阪府)に準決勝で0 - 3で敗れたが、強豪高を倒しての堂々の3位となった。(秋田県鹿角市:鹿角トレーニングセンター)

その4

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
卓球 成年女子	第2位	H19.10.3	十六銀行 西飯由香 潮崎由香 朱 夢軍		3連覇を狙う十六銀行は準々決勝で広島県に苦戦するも、決勝に進んだ。決勝はアスモ(静岡県)との戦いで、1番手を失った後2番手の潮崎選手が2 - 0から逆転を許して主導権を奪われた。その後、1勝するもラストの朱選手までつなげず1 - 3で2位となり連覇が途絶えた。 (秋田県鹿角市:鹿角記念スポーツセンター)
ボウリング 成年男子 年齢別個人戦コース (29歳以下)	第2位	H19.10.2	高橋 俊彦 (ACランド)		予選でトップの原田選手(埼玉県)から38点差の2位につけた高橋選手は、決勝の第2ゲームで5連続ストライクをとるなどトップに猛追した。しかし、最後の第3ゲームの勝負所でショットを乱し、スコアを伸ばすことができなかった。合計1964点の2位となったが、目標の連覇は果たせなかった。 (秋田県横手市:台由ボウル)
陸上競技 成年女子 400m	第2位	H19.10.5	青木 沙弥佳 (福島大3年)	県岐阜商高卒	青木選手は予選3組を55秒48でトップ通過し決勝に臨んだ。強風の中、前を走る久保倉選手(新潟県)を懸命に追ったが届かず、55秒09で2位となった。 (秋田県秋田市:秋田県立中央公園県営陸上競技)
少年女子B 3000m競歩	第2位	H19.10.6	中原 舞 (大垣東中3年)		中原選手は積極的なレース運びで、1000m過ぎに一気に先頭に立った。ペースアップして残った4人の集団を果敢に引っ張ったが高校生の岡田選手(埼玉県)に抜かれ、そのまま2位でゴールした。優勝こそ逃したが、中原選手の果敢なレース運びが1位・2位の大会新記録を生み出した。 (同 上)
少年女子A 三段跳	第2位	H19.10.7	吉田 麻佑 (県岐阜商高3年)		自己ベスト12m52を持つ実力者の吉田選手は、1本目の不本意なジャンプの後2本目でスピードに乗り12m44の好記録を出した。大会新で優勝した前田選手(奈良県)には及ばず2位に入賞した。 (同 上)
成年男子 やり投	第2位	H19.10.8	荒井 謙 (七十七銀行)	斐太高卒	序盤70mラインをなかなか超えられず5投目でようやく超えて4位に上がった。最後の6投目の会心の投てきは自己記録に迫る75m65のビッグスローとなり、一気に2人を抜き2位に躍り出た。 (同 上)
ボート 成年女子シングルスカル	第1位	H19.10.8	若井 江利 (早稲田大3年)	加茂高卒	予選・準決勝と格の違いを見せつけた若井選手は、決勝でも序盤からリードを広げ、他を離れた余裕のレース展開で国体での初優勝を飾った。 (秋田県大潟村:大潟漕艇場)

その5

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
ボート 少年女子 舵手つきクオドルプル	第1位	H19.10.8	岐阜選抜 加茂高 恵那高 八百津高		予選を2位通過して準決勝に進んだ岐阜選抜は、準決勝を1位で通過し決勝へ駒を進めた。決勝では中間の500mでは3番手。750mからスピードを上げ、ゴールには由利高(秋田県)とほぼ同時に入った。接戦を制し、僅か0.26秒差で見事優勝を飾った。(秋田県大潟村:大潟漕艇場)
レスリング 少年男子 フリースタイル84kg級	第1位	H19.10.6	山口 剛 (中津商高3年)		高校4大会のうち既に3冠を達成している山口選手は高校ナンバー1の実力通り決勝まで相手に1ピリオドも奪われることなく勝ち進んだ。決勝は、佐賀インターハイと同じ組合せで山下選手(静岡県)との勝負になったが、持ち前のスピードとパワーで圧倒し、見事4冠を達成した。(秋田県湯上市:昭和体育館)
少年男子 グレコローマンスタイル50kg級	第3位	H19.10.8	桑木 黎 (岐南工高2年)		桑木選手は2回戦・準々決勝と勝ち上がり、準決勝は8月の全国高校生グレコローマン選手権大会で桑木選手を下して優勝した中野選手(静岡県)との対戦となった。一矢を報いたい試合ではあったが力及ばず、3位となった。(同上)
成年男子 グレコローマンスタイル84kg級	第3位	H19.10.8	加納 篤 (神戸中講師)		9年連続出場で2度の優勝の経験を持つ加納選手は準決勝の奥村選手(三重県)との試合の序盤、指を脱臼する不運なアクシデントに見舞われ、奮闘するもフォール負けを喫し、3位となった。(秋田県五城目町:五城目体育館)
イオン・カップ世界クラブ選手権 ジュニア個人総合の部	第3位	H19.10.7	横山 加奈 (NPOぎふ新体操クラブ)	羽島中3年	横山選手は1・2回戦を4位につけ、欧州勢との3回戦・決勝に進んだ。得意のロープとフープで得点を上げ、ボールトリボンでミスが出たものの順位を一つあげ、本大会14回目にして日本人初のメダル獲得を果たした。(東京都渋谷区:東京体育館)
平成19年度 全日本卓球選手権大会 団体の部(女子)	第3位	H19.10.14	十六銀行 潮崎由香 田勢美貴 江 朱 朱 夢軍		十六銀行は予選リーグを3戦全勝で勝ち上がり、決勝トーナメントでは日本生命との対戦となった。前期日本卓球リーグで唯一敗れている相手であり雪辱を期したが、力及ばず敗れて3位となった。(大分県杵築市:杵築市分化体育館)
第25回 全日本ジュニア新体操選手権大会 女子団体	第1位	H19.10.21	NPOぎふ新体操クラブ 横山加奈・伊藤加奈 糸川みなみ・吉田茜 小出菜子美		NPOぎふ新体操クラブは、エースの横山選手を中心に、よく演技をまとめ、決定点14.000で悲願の初優勝を飾った。横山選手は立ち上がりのロープでは固さも見られたものの得意のフープで高得点を記録し、4種目中3種目でトップに立ち2位の山口選手(イオン)に大差をつけて初優勝を飾った。併せて、横山選手は当大会優勝により全日本クラブ選手権大会、全国中学校体育大会と3冠を達成した。(東京都渋谷区:代々木第一体育館)
女子個人総合	第1位	H19.10.21	横山 加奈	羽島中3年	

その6

大会、競技会名 (主催者名)	成績	入賞年月日	入賞者名、団体	岐阜県との関係 (在住、出身)	大会、競技会の概要(意義)
第55回 全日本実業団弓道大会(近的)	第1位	H19.10.21	イビデン		20都道府県から19チーム約800人が出場。予選から徐々に調子をあげたイビデンは、決勝でも集中力を切らさず75点を挙げ3年ぶり3度目の優勝を遂げた。 (三重県伊勢市:伊勢神宮弓道場)
第29回 全日本社会人ホッケー選手権大会 (女子)	第1位	H19.10.24	ソニー宮 BRAVIA Ladies		シードのソニー宮は緒戦を14 - 0で勝って勢いに乗ると、準決勝もH・F・C・HANNOを2 - 0で完封し、グラクソ・スミスクラインとの決勝になった。前半2分、木村選手が先制して、幸先のよい立ち上がりを見せ、その後、加藤選手が2得点し、前半を終えて3 - 0と優位に立った。後半、相手の猛攻を無得点に抑え、2年連続17回目の優勝を飾った。 (大分県玖珠町:メルヘンの森スポーツ公園)
第38回 ジュニアオリンピック陸上競技大会 女子100m障害(Aクラス)	第2位	H19.10.26	大谷 友梨恵 (多治見中3年)		県中学校記録を持つ大谷選手は、準決勝で自己ベストを更新して勢いに乗った。決勝では、後半ハードルを引っかけたものの自己ベストを更に上回る14秒25の県中学校新記録を出し2位に輝いた。 (神奈川県横浜市:日産スタジアム)
男子砲丸投(Cクラス)	第1位	H19.10.28	高 暁龍 (藍川東中1年)		高選手は5投目で幸田選手(聖学院中:東京都)に抜かれて2位となったが、最終の6投目で自己ベストの17m42を記録して、幸田選手を再逆転して初優勝を飾った。 (同上)
第91回 日本陸上競技選手権 リレー競技大会(女子) 4×400mR	第1位	H19.10.28	福島大学 渡辺なつみ・丹野麻美 青木沙弥佳・金田一菜可	青木沙弥佳 (県岐阜商高卒)	実力者の揃った福島大は、2走のエース丹野選手が後続差を広げて、青木選手・金田一選手とつなぎ、大会新記録3分34秒70で大会8連覇を飾った。